

組合だより

JA

お・か・ん・く

2025
ニルカフェ

2025
牛乳

2025
vol.282

令和7年12月12日発行
発行：おみやぎ酪農協同組合
責任者：小堀 孝也
〒591-0241 津山市川崎94-1
☎(0868)26-1101



おかやまミルクフェア2025を開催

11月1日、岡山県酪農乳業協会

会とおかやま酪農協同組合共催による「おかやまミルクフェア2025」が岡山市北区の北長瀬未来ふれあい総合公園で開催されました。前日の大雨で会場のコンディションが心配されましたが、水たまりは多少あったものの当日は何とか晴れてくれました。

オープニングセレモニーの後、令和7年度「牛乳大好き！絵画コンクール」の表彰式を行いました。また、会場内に最優秀賞・優秀賞・優良賞を受賞した子どもたちの力作45点を展示。

併せて牛乳・乳製品利用料理コンクールの岡山県大会への出品作品10点のパネルも展示し、多数の来場者にご覧いただきました。



主催者の挨拶

した。

毎回好評の「親子アイスクリーム作り体験」と「親子バター作り体験」のコーナーではたくさんの方々が手作り体験を楽しんでいました。

青年部は「トラクターの記念撮影」や「ロールにおえかき」に加え、今年初めて飼料や乾草、配合飼料を展示して、小さなお子さんには触ったり匂いをかいだりしてもらいました。また、酪農に関するクイズにも挑戦してもらいました。

女性部はミルクなべの販売と牛乳もちの試食、牛乳パック工作で子どもから大人まで大変な賑わいでした。岡山県畜産課は「牛乳消費拡大PRコーナー」で酪農の現状をPRし、中販連は「カルピスの牛乳割りの試飲コーナー」で牛乳の飲み方を提案。「酪農なぞ解きコーナー」では、家族でスマホを使って酪農に関するクイズを解きながら会場内を巡り、酪農を学びながら賞品を目指していました。全ては紹介しきれませんが、来場者に楽しんでいただけたら幸いです。

岡山県酪農乳業協会会員の乳業メーカー、6次化産業に取り組む組合員も出店され、主力商品のPRと牛乳・乳製品を販売していただき大盛況でした。

今年も岡山県厚生連による「骨密度測定」及び岡山県栄養士会による「栄養相談」も行われ、多くの方に牛乳の大切さをPRすることができました。

ステージでは子どもたちに大人気の「それいけ！アンパンマンショー」やマジシャンゆかりさんによるマジックショー、フアジアーノ岡山チアダンススクールのダンスが会場を沸かせ、ステージの前は多くの家族連れで賑わいました。

一日ではありましたが、酪農に関わる人たちが一丸となつて、牛乳・乳製品の消費拡大、酪農の理解醸成に取り組んでいます。

最後になりましたが、ミルクフェアにご協力を賜りました出店者、並びに関係者の皆様方に心より感謝とお礼を申し上げます。

(事務局)



「牛乳大好き！絵画コンクール」受賞者の皆さん





長恒泰治氏に旭日双光章叙勲伝達される

令和7年度秋の叙勲において、旭日双光章を受章された長恒泰治氏（前おからく組合長）の叙勲伝達式が11月21日に農林水産省で行われ、旭日双光章の勲章と勲記が授与され、その後、皇居へ参内され天皇陛下への拝謁が行われました。

長恒氏は真庭市蒜山地区で高度な知識と技術力を背景に、広大な草牧地を利用し自給飼料を基盤とした酪農経営を行い、蒜山地区酪農家のリーダーとして活躍され、平成11年にホクラク農業協同組合監事に就任され、その後は平成14年県単一の酪農専門農協である「おかやま酪農業協同組合」設立時には理事に就任さ

れました。

平成30年には専務に就任され、改正畜安法への不安感が広がる中でも多くの酪農家からおかやま酪農業協同組合に生乳販売を委託され、組合員から支持される組合運営の礎を築かれました。

令和3年には組合長に就任され、当初は新型コロナウイルス感染症や円安等、前例のない酪農不況に見舞われ「生産者手取り乳価」の値下がりは続き、値下がりに歯止めをかけるべく中国生乳販連と団結し乳価交渉を進め、さらに、おかやま酪農業協同組合では生乳生産基盤維持を目的に、農家支援対策を講じるなど、



令和6年に退任されるまで、組合の合理化、機能強化、酪農基盤維持復元対策を講じ、手数料低減、集送乳合理化を図り、手取り乳価確保のために奔走されました。また組合員を最優先に考え、先頭に立って組合員及び関係者へ足を運び、組合の安定運営に向けた支援及び協力をお願いし、組合運営、組合員の経

営安定に尽力されました。

平成30年からは中国生乳販売農業協同組合連合会監事、令和元年からは同連合会代表監事、令和3年からは同連合会代表理事、就任当初には世界経済は停滞。

バター及び脱脂粉乳は過去最大の在庫を抱え、さらに海運等の混乱と物流の遅延等による生産資材の逼迫とコストは上昇し、酪農経営は著しく悪化。そのため、中央団体会議等で乳価値上げを呼びかけ、全国が一致団結して乳価交渉を行い、令和4年11月、令和5年8月と2年連続で飲用等向け乳価の値上げを実現しました。また、中国地方のフードバンク、福祉施設等へ牛乳・乳製品の無料配布を行い、牛乳等の需要の掘り起こしを図りました。生産者拠出による「乳製品在庫調整対策事業賦課金」により脱脂粉乳の過剰在庫解消に尽力するなど多大な功績を残されました。

長恒氏からは、「叙勲受章は大変光栄であり、皆様方の長年にわたるご支援の賜物と深く感謝いたします。酪農家は乳価値上げがあつたものの、飲用牛乳消費低迷による脱脂粉乳在庫の増加、急激な円安による生産資材高騰、日中関係によるイン



バウンドの失速の兆し等により酪農業界は再び厳しい状況に直面しつつあります。このような時こそ、組合、指定団体、全酪連を始めとする中央団体、酪農政治連盟との連携によりこの窮状を乗り越え、次世代へつなげていただきたいと願います。今回の叙勲受章に対し、敬意とご芳情をいただきました皆様に深くお礼申し上げます」と話されました。

このたびの受章をお祝い申し上げますとともに、今後のますますのご活躍を期待いたします。



見えない汚れを見える化しよう

生乳出荷者の皆さんは食品関連事業者として位置づけられていることは周知のことと思います。食品安全基本法第8条には、「自らが食品の安全性の確保について第一義的責任を有していることを認識して、食品の安全性を確保するために必要な措置を食品供給の行程の各段階において適切に講ずる責務を有する」とあります。

乳牛を健康に管理し、衛生的に搾乳し、衛生的に保管し出荷する義務があることを認識しましょう。

搾乳された生乳が通過する、搾乳ユニットやパイプライン、バルククーラー等の洗浄は、今では大半が自動化され、洗浄労力はずいぶんとラクになったと思います。しかし、その自動洗浄には大きな落とし穴があります。

自動洗浄ではどうしても届かないところや水量・水流が極端に弱いところが必ず出現します。そこで、定期的に分解し、手洗い洗浄する事が必須となります。また、各ラインのつなぎ部分のゴムパッキン等はアルカリ洗剤や酸洗剤の影響により劣化し、ひび割れや硬化、あるいは触ると手指が黒くなるなど溶解しています。ガイドラインではゴムパッキン類は最低1年に1回交換することが推奨されています。

(パイプライン等のパッキンは長年交換されていない実例が多々あります)

生産支援課では、生乳通過ラインにおけるゴムパッキン交換助成事業を計画中です。ぜひこの機会に、助成事業を利用し定期的な交換を行うよう心掛けましょう。

おからくでは、各事務所へルミテスター（写真1）を配備しています。搾乳ユニットからバルククーラーの排出口までの間に使用されているゴム類の交換の際は、最寄りの事務所へ交換日をお知らせください。おからく職員が、実際にルミテスターを使って、汚れ具合をチェックいたします。

★ルミテスターってなあに？★

ルミテスターとは、専用の綿棒を使用し、ふき取り検査（A3法）によってATP（アデノシン三リン酸）、ADP（アデノシン二リン酸）、AMP（アデノシン一リン酸）を汚れの指標として計測する装置です。

図1のように、ATPは、地球上のあらゆる生き物がエネルギーの元として持っている物質で、菌などの微生物・生乳・肉・魚・野菜などの食べ物、ヒトの汗や唾液などの退役といった生き物を含む多くの有機物に含まれています。ATPがあるということは、そこに生き物に由来する何かが存在することを意味します。ATPがたくさん残っていることは、食品製造の現場では食品残渣など洗い残しや微生物繁殖リスクがある、医療や調理現場では感染症汚染のリスク源になる可能性があり、酪農では洗浄不良として汚れがあることを意味します。

ATPふき取り検査は、ホタル腹部の発光機の中で起きている酵素反応を応用しています。（図2）ATPは、ルシフェラーゼと反応すること



写真1

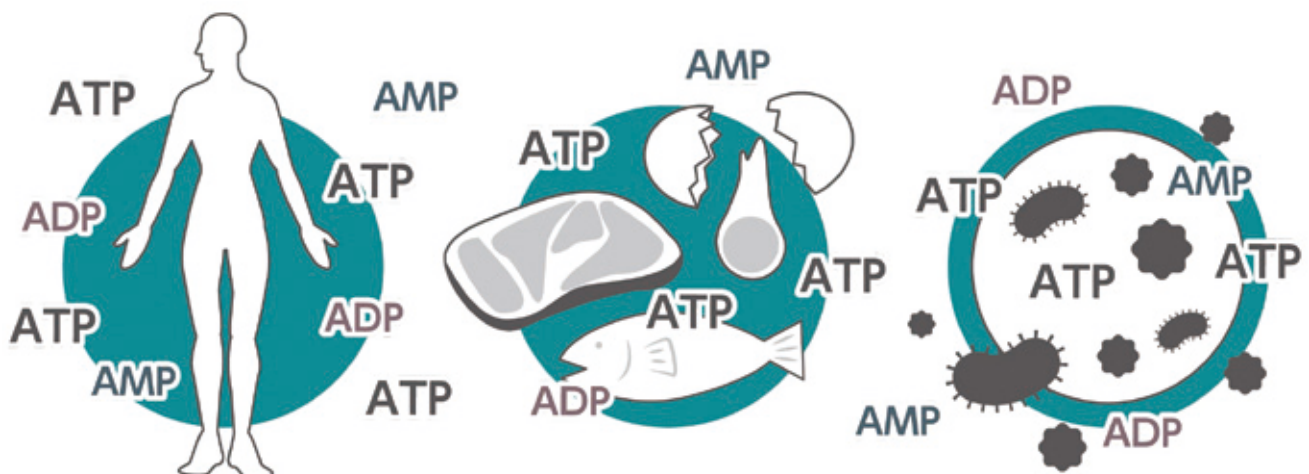
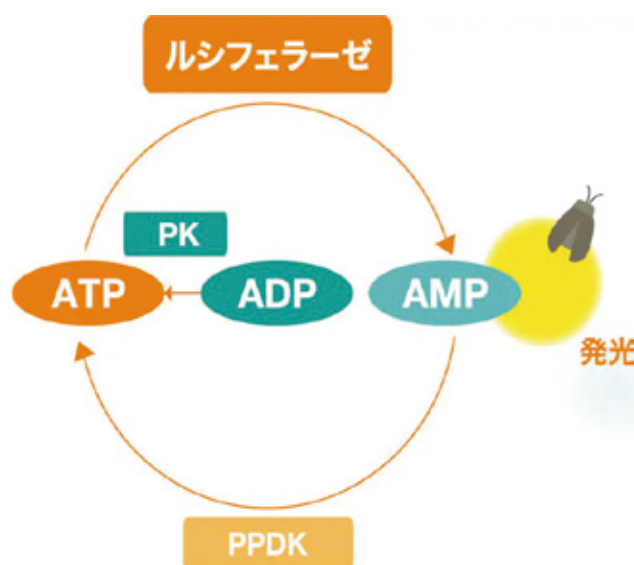


図1



でAMPに変化します。その際にエネルギーを放出して光を発生します。ATPの量が多ければ光が強くなり、ATPの量少なければ光は弱くなります。測定器でこの反応の発光量を測定することでATPの量が分かります。



※PKはADPをATPに変える酵素です。
※PDKはAMPをATPに変える酵素です。

図2

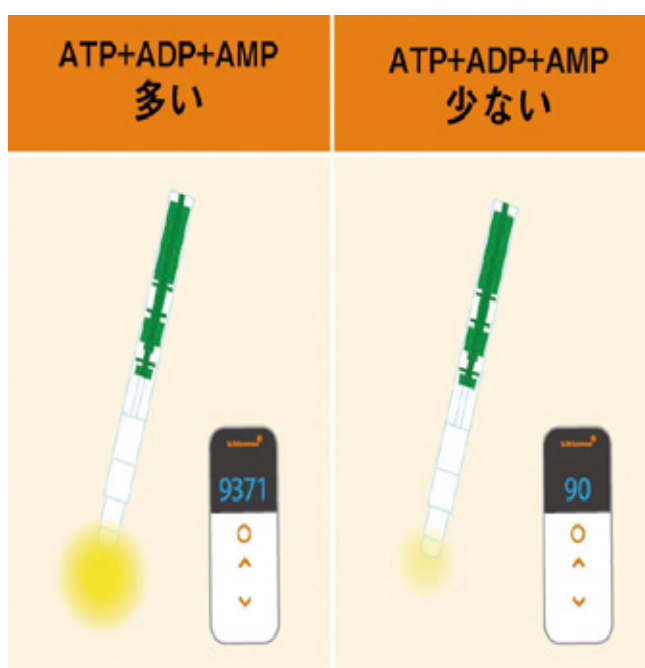


図3

数値としてどの程度で合格ラインでしょうか？

検査の目的	検査ポイント	第1基準値	要注意	第2基準値
		合格(≤)		不合格(>)
衛生教育・作業前衛生チェック	手指	2,000	2,001 ~ 4,000	4,000
製造ライン、 調理器具等の衛生管理	コンベアベルト（樹脂製）	500	501 ~ 1,000	1,000
	調合釜（ステンレス製）	200	201 ~ 400	400
	スライサー	200	201 ~ 400	400
	充填機	200	201 ~ 400	400
	バルブ	200	201 ~ 400	400
	操作ボタン	500	501 ~ 1,000	1,000
	まな板	500	501 ~ 1,000	1,000
	包丁	200	201 ~ 400	400
	調理台	200	201 ~ 400	400
	ザル・ボウル・バット	200	201 ~ 400	400
	鍋	200	201 ~ 400	400
	冷蔵庫（取っ手）	200	201 ~ 400	400
	冷蔵庫（内棚）	500	501 ~ 1,000	1,000
	シンク	200	201 ~ 400	400

表のように

- ☆ステンレスやガラスなどの平滑なもの : 200RLU以下
- ☆ゴムや樹脂製品等の凹凸のあるもの、傷つきやすいもの : 500RLU以下
- ☆手指 : 2,000RLU以下

となっています。

すなわち、生乳が通過するパイプライン、レシーバージャー、バルククーラー内から排出口、ミルククロー内部などの生乳通過ルートは200RLU以下、ゴムパッキン部分やライナーゴム内、ミルクホーズや送乳ホーズ内などの樹脂製品などは500RLU以下がBEST（合格）となります。



500RLU以上あるということは、汚れが完全に落ちておらず、細菌の増殖の可能性が大いにあるということです。

ちなみに、手指の表面は指紋やしわがあり、表のようにATP数値が高くなります。そのため、搾乳手袋装着が重要なのです。

衛生的基準を満たした生乳を出荷するのはあなたの責務です！

定期的にふき取り検査を実施し、安全・安心な生乳出荷を心掛けましょう

※ルミテスターによるふき取り検査は、最寄りのおからく事務所へご相談ください。

(事業本部)

第16回全日本ホルスタイン共進会お礼

岡山県立高松農業高等学校・(公財)中国四国酪農高等学校からお礼状が届きましたので、掲載させていただきます。

岡山県立高松農業高等学校

10月25日～26日に行われました第16回全日本ホルスタイン共進会におきましては多大なるご支援を賜り、大変ありがとうございました。以下の結果とさせていただきます。

出品牛

3部・タカノウ ジャガー

チャレンジ エイコウ

(19頭中16位)

リードマンコンテスト

(高校3年生の部)

5位入賞 畜産科学科3年

小原 杏弥

今回のリードマンコンテストでは5位入賞という、良い結果を持ち帰ることができました。

このような結果を獲得できましたのも、ひとえに、皆様の援助があつてのものと考えております。期間中はご迷惑をお掛けすることもあったかもしれませんが、さまざまな面でサポートいただき、本当にありがとうございました。

大会では、他県の牛を見たり、県内の酪農家の方々と交流できたりと、

とても楽しく濃い6日間となりました。

全国の出品牛や酪農家の方々の姿に多くのことを学び、改めて日々の管理や観察の大切さを実感いたしました。

この学びを今後の進路に生かし、より成長できるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

(公財)中国四国酪農高等学校

第16回全日本ホルスタイン共進会への出品にあたり、関係機関ならびに出品団の皆様より多大なるご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。また、おからく教育振興会から多大なご支援をいただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。

本校からは第1部(ホルスタインJサイアー)と第19部(ジャージー36ヶ月未満)に出品いたしました。併せて、昨年からの出品牛の管理に携わってきた2年生5名が参加いたしました。

長距離輸送や長期遠征、さらには季節のの違いなど大きな不安を抱えながらの挑戦でしたが、多くの皆様のご支援により、牛・人ともに無事参加できたことは何よりの喜びでした。

10年ぶりの全共は大いに盛り上がり、会場の熱気を肌で感じ、日本を代表する牛たちを目の当たりにできたこ

と、全国各地の方々と交流できたことは、学生たちの今後の活動に大きな支えとなることでしよう。

さらに、全国で活躍している多くの卒業生と再会し、近況を語り合えたことも誠に喜ばしく有意義な時間となりました。

今回の経験を糧に、今後ともさらなる挑戦を続けてまいりますので、本校に対し変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





令和7年度下期乳用牛体格審査報告

令和7年度下期牛群審査および後代検定娘牛に関わる体型調査が11月11日から18日にかけて（一社）日本ホルスタイン登録協会 塩野雅一審査員、山下薫審査員により実施されました。

今回の審査では、牛群審査7戸105頭、体型調査14戸104頭、SNP審査2戸14頭、合計223頭の審査を行いました。

牛群審査では、岡山市 妹尾優佳さん所有「ヒールクレスト コスモポリス ローヤリスト」号（令和元年9月5日生、5産）が92点（EX-2E）を獲得しました。

また、妹尾優佳さん所有「ヒールクレスト ロートラスト レイ」号（令和2年8月16日生、4産）が91点、吉原直樹さん所有「グランデイル ナナチヤン ショータクン AIナナチヤン」（令和元年6月26日生、5産）が91点を獲得しました。

今回の審査および調査にご協力いただいた組合員の皆様、大変ありがとうございました。次回の審査の際もよろしくお願いいたします。

（生産支援課）

令和7年度下期牛群審査成績高得点牛

89点以上（ホルスタイン種）					
市町村	受審農家名	名	号	年 齢	決定得点
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	コスモポリス ローヤリスト	6-02	92(EX-2E)
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	ロートラスト レイ	5-03	91
津山市	吉原 直樹	グランデイル	ナナチヤン ショータクン AIナナチヤン	6-04	91
津山市	辻 賀裕	ハッピーライブ	モデステイー ダンテ ルル	5-08	90
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	イット ペンギン	6-00	90
岡山市	有安 力	ALICE	アマンダ マーチ ハンプレン マリアベル ET	6-02	90
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	ジョイチップ レイ	6-06	90
津山市	吉原 直樹	グランデイル	ロートラスト ミドリ	6-07	90
岡山市	有安 力	ALICE	プロミス ヒール シルバ ヒスイ ET	7-00	90
真庭市	(有)長恒牧場	ハッピーグローリー	ビクトリア ペトロン	8-06	90(EX-4E)
津山市	吉原 直樹	グランデイル	589 サラ タンクレディー	4-07	89
津山市	吉原 直樹	グランデイル	ドクター キンキラキン ET	4-07	89
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	ドワン リンツ ET	4-09	89
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	マツカチエン キリン	4-09	89
真庭市	(有)長恒牧場	ロングスト	ウエーバー ドアマン モーガン 2	5-10	89
岡山市	妹尾 優佳	ヒールクレスト	ローゼッタ クラツシュ	6-00	89
津山市	辻 賀裕	HLS	スター GW ギンチヤン ET	7-04	89
初産で85点					
市町村	受審農家名	名	号	年 齢	決定得点
津山市	吉原 直樹	グランデイル	オカメ ET	2-05	85
津山市	吉原 直樹	グランデイル	デルタラムダ ミカン	2-11	85



子牛の冬を支える、新しい乳酸菌製剤『らくとけZ』

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 中四国事務所 澤田 茜

はじめに

朝夕の冷え込みがぐっと厳しくなってきました。今年も残りわずかとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。現場では、子牛の管理によりいっそう気を遣う時期かと思えます。さて、今回は新しい乳酸菌製剤『らくとけZ』を紹介したいと思います。

乳酸菌製剤『らくとけZ』の特長を3つご紹介します。

①生きて腸まで届く乳酸菌

今回の製品には、「有孢子性乳酸菌」という、名前の通り孢子を持っているため、自身の周りに殻のような孢子を作ることによって熱・酸・乾燥から身を守っている乳酸菌です。また、生きた善玉菌を給与することで更に善玉菌を増やす、プロバイオティクス効果の高い乳酸菌です。そのため、乳酸菌だけでもほかの善玉菌の増加を促し、酪酸を生産しやすい腸内環境にします。

②子牛の成長をサポート

有孢子性乳酸菌の添加により腸内細菌叢が変化し、腸内環境が整うことで、代用乳やスターター・乾草などの飼料摂取量を増加させることが、酪農技術研究所での研究で分かりました。

③牛・人・機械にやさしい

1日10gと少ない添加量で充足し、確実に摂取させることが簡単です。また、水やミルクに溶けやすく、沈殿しにくい製品のため、ミルクを作るときの手間が軽くなるだけでなく、機械の詰まりを防ぐことで哺乳ロボット等の機械にも優しいです。

最後に

子牛の健康なサポートは牧場全体の生産性に直結します。新しい乳酸菌製剤『らくとけZ』がその一助となり、現場の負担軽減と、より安定した育成に貢献できれば幸いです。

ご興味のある方は、お近くの全酪連職員にお気軽にお問い合わせください。

ZENRAKUREN

乳酸菌混合飼料

らくとけZ

1kg×10袋 アルミ袋規格

優れた溶解性！

機械本体にやさしい！

熱・酸・乾燥に強い乳酸菌！

牛にも人にも機械にもやさしくなきゃね♪

全国酪農業協同組合連合会

① 優れた溶解性

溶解性に優れた原料を全酪連独自の配合量で混合することで、溶け残りを少なくしました。

300mlのお湯に製品20gを溶解し、5分静置した後の様子です。（右写真）
比較製品よりもらくとけZは沈殿も少なく、溶解性に優れていることが分かります。

A社製品 B社製品 らくとけZ

② 機械本体にやさしい

鉱物系原料の混合を微量にすることで、機械や哺乳器に傷を付けずにご使用できます。

哺乳ロボ、哺乳器何でもOK！
哺乳スタイルを選ばずご使用できます。

③ 熱・酸・乾燥に強い乳酸菌！

熱や酸・乾燥に強い孢子を作る有孢子性乳酸菌が、腸まで乳酸菌を届けることができます。

乳酸菌

口に入る → 胃で栄養分 → 消化液でダメージ → 腸に届くころには…

有孢子性乳酸菌

口に入る → 胃で栄養分 → 酸ダメージ回避 → 孢子分裂 → 腸で長く留まる

■ 給与方法

1日10gを目安に複数回に分け、ミルクに混ぜて給与してください。

こんなときにおススメ

- ☑ 子牛を健康に育てたい
- ☑ 高い添加剤を無駄にしない
- ☑ 溶け残りが気になる
- ☑ 哺乳ロボットを長持ちさせたい

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

大阪支所 06-6305-4196 近畿事務所 0794-62-5441

中四国事務所 0868-54-7469 三次事務所 0824-68-2133 ▲全酪連HP ▲カタログ



試験紹介 「稲WCSを用いた乳用牛の育成方法の確立」について

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

はじめに

当所で令和5年度から取り組んでいる研究課題「稲WCSを用いた乳用牛の育成方法の確立」が、本年度で最終年度となりますので、これまでの主な試験成果を紹介します。

背景・目的

ご存知の通り、近年の世界情勢の影響により、輸入飼料価格は高止まりが続いている状況です。

そこで、経営コストの大半を占める飼料費を低減し、生産性を落とさない育成方法の確立を目的に本試験に取り組みました。

試験内容

試験対象牛は8か月齢から15か月齢の乳用育成牛です。購入乾草の7割（乾物量）を稲WCSに置き換えた試験区と購入乾草を給与する対照区を比較しました。飼料給与量は表1のとおりです。

試験では定期的に体高、体重、BCS、採食量等を計測し（写真1）、併せて受胎月齢等の繁殖成績や飼料費の削減効果についても調査を行いました。

試験結果

体測結果は両区とも体高や体重に差はなく、概ね同等の発育を示しました（図1）。

した（図1）。

試験終了時の15か月齢でのBCSは、試験区が平均3・29、対照区が平均3・38となり、稲WCS給与による過肥や削瘦は見られませんでした。

繁殖成績は試験区が平均1・3回、対照区が平均2・0回の授精で受胎し、稲WCSの給与による影響は見られませんでした。

飼料費は現物給与量から換算すると約2割のコスト削減効果が見られました。

また、令和6年12月から勝央町の酪農家にご協力いただき、前述した試験内容をもとに現地実証試験を実施しています（写真2）。

現時点（約11か月齢）では場内試験と同様に試験区と対照区の発育は概ね同等となっており、農場からは、育成牛の稲WCS摂取量は、ロールの品質（カビの有無）や気温により変化するため、給与量に気をつける必要がある等の意見がありました。

最後に

今後、本試験で得られたデータをもとに、乳用育成牛への稲WCS給与事例集の作成を予定しています。



写真1 体測のようす

8カ月齢				
区分	濃厚飼料 (kg)	粗飼料 (kg)		
		稲WCS	チモシー	スーダン
試験区	2.0	10.5	1.1	0.4
対照区	2.0		4.0	1.0

15カ月齢				
区分	濃厚飼料 (kg)	粗飼料 (kg)		
		稲WCS	チモシー	スーダン
試験区	4.0	20.1	2.2	0.7
対照区	4.0		6.5	3.5

表1 1日1頭当たり現物給与量



写真2 現地実証試験牛

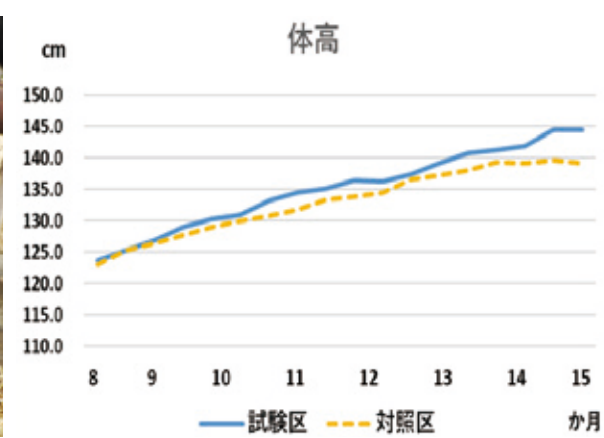


図1 体測結果（体高）



第30回酪友フォーラム

11月13日・14日、西日本酪農青年女性会議主催の「第30回酪友フォーラム」が愛媛県松山市「道後温泉にぎたつ会館」で開催され、中四国から約40名の参加がありました。

はじめに、開催県である愛媛県の東宇和酪農青年部から、アニマルウェルフェアに関する勉強会や、現場での取り組みについてご紹介いただきました。

続いた講演会では、整理収納アドバイザーの瀧本真奈美氏より「食品ロス削減のための整理収納セミ



講演会のようす



会場の方とコミュニケーションをとる瀧本氏

ナー」と題したご講演をいただきました。今回のセミナーでは、食品ロスをテーマに、定義の確認をはじめ、ロスが発生する原因、やってはいけないNG収納、基本となる食品収納の考え方、対策、さらには簡単なレシピ例まで幅広くご紹介いただきました。

食品ロスとは、本来食べられるはずの食品を捨ててしまうことであり、「もったいない」という観点だけでなく環境にも悪影響を及ぼす問題です。令和5年の日本の年間食品

ロスは約464万tにのぼり、国民一人当たり毎日おにぎり1個分を捨てている計算になります。そのうち半分近くが家庭から発生していることから、家庭での対策が重要であると教えていただきました。

食品ロス削減のためには、自宅に「何が」「どれくらいあつて」「いつまで食べられるのか」を把握することが近道であると熱く語っていただきました。

また、セミナーの最後には参加者から冷蔵庫の使い方に関する質問が寄せられ、開封済み食品の冷凍や保存のコツ、冷蔵と冷凍の使い分けな



活発な意見が飛び交いました!!

ど、実践的なアドバイスもいただきました。

講演会後には、「食品ロス・酪農現場ロス」をテーマとしたグループワークが行われ、活発な意見交換が行われました。

今回の酪友フォーラムへの参加にあたり、(一財)おからく教育振興会より参加助成をいただきました。

来年は、西日本発表大会が山口県、全国発表大会が沖縄県で開催されます。他県酪友との交流を深める貴重な機会ですので、ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(生産支援課)



グループワーク発表のようす



バター作り&搾乳体験

10月29日、加賀南小学校（吉備中央町）の3年生の親子活動として、「牛乳を使った食育体験」を行った。この依頼を受け、訪問させていただきました。

まずは教室で、酪農に関するクイズからスタート。「牛の胃の大きさってどれくらい？」という問いに、答えが「ドラム缶の大きさ」だと知り、子どもたちはビックリ。次々と出題される問題に、笑顔で元気に答える姿が印象的でした。

続いては、班ごとに分かれて、バター作りと搾乳体験に挑戦しました。



おいしくできるかな♪



大きな牛を前に興味津々

バター作りでは、一生懸命ボトルを振りながら、「もうできた?」「まだかな?」と苦戦しつつも、固まったバターを見て大喜び!

搾乳体験では、大きな牛を目の前に、「本物もこんなに大きいのか?」と驚きの声を上げながら、夢中で体験する姿がとても微笑ましかったです。

今回の体験を通じて、子どもたちは牛乳や酪農への関心を深めてくれたようでした。

今後も、さまざまな場所で酪農への理解を広げる活動に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

(生乳課・びほく事務所)

バター作り体験

11月8日、まきばの館活性化委員会主催でバター作り体験を行いました。

まきばの館体験ルームで行われたこの催しは、事前に申し込まれた5組19名（大人11名・子ども8名）が参加。中には岡山市や倉敷市から来場された方もおられました。

グループごとに分かれてテーブルに座り、いよいよ体験開始。子どもたちは大はしゃぎです。大人の参加者も子どもたちに負けじと一生懸命ボトルを振り続けていました。家族連れのグループは、子どもさんのボトルを交代しながら振っていました。

最後は参加者全員が見事にバターを完成させることができ、まきばの館のレストランで焼かれたホットケーキにつけて美味しそうに食べていました。

子どもたちからは「おいしい! 楽しかった」と大好評で、大人の参加者も「フレッシュでとても美味しくてびっくりした」「家で家族に振舞いたい。生クリームはどこで買えるの?」との声も聞かれました。



みんな頑張って作りました!

今回はまきばの館の活性化を目的に企画されましたが、乳製品の可能性を知ってもらうきっかけになれば良いと思います。

1時間半ほどの短い時間でしたが、私たちも楽しい時間が過ごせました。これからも秋のイベントシーズンが続きます。継続的に理解醸成活動を行っていきたいと考えています。

(生乳課)



笑味ちゃん天気予報がやってきた!

(RSKテレビ) 月々金 18時50分より

12月1日放送の笑味ちゃん天気予報の担い手紹介コーナーで、安富太陽さん(岡山市北区下足守)が紹介されました。

太陽さんは大阪府出身で、長女のみと美和さんとの結婚を機に岡山へ移り住み、現在は牧場に隣接する店舗でジェラート製造を担当されています。

最初は牛舎での作業風景や照人さんから太陽さんへアドバイスをする



照人さんと太陽さん

ようすを撮影。続いて、店舗へ移動し、白衣に着替えた太陽さんが搾りたての生乳からジェラートを製造するようすを撮影しました。

取材中のインタビューでは、終始柔らかな笑顔で丁寧に対応してくださり、「知らない分野で初めてのことが多く、いろいろなことを学びながら、今後に活かしたいとワクワクしています。最近では子どもの牛乳離れが進んでいると聞くので、少しでも歯止めがかけられるよう、貢献していきたいです。みんなの笑顔のためにがんばります!」と話される姿が印象に残りました。

柔らかな雰囲気や癒されるインタビューで、前向きなお話に元気をいただきました。「周囲の笑顔のため」という姿勢がとても印象的で、温かい気持ちになりました。

今後のますますのご活躍を期待するとともに、心より応援しております。

(生乳課)



番組では、曜日によりテーマを決めて放送しています。

・月曜日 担い手・JA職員紹介・高校生紹介

・火曜日 農畜産物の紹介

・水曜日 火曜日に紹介した農畜産物を使った料理の紹介・栄養士による料理・栄養

等の紹介

・木曜日 JA活動紹介・市町村の紹介

・金曜日 直売所・イベント紹介

搾乳等お忙しい時間帯の放送になりますが、ご都合のつくときはぜひ観てください。また、取材にもご協力くださいますようお願いいたします。





World Cheese Awards 2025 三宅牧場直営倉敷チーズ工房ハルパル

銀賞獲得！

11月13日～15日、スイス・ベルン

にて開催された、世界で最も権威あるチーズコンテスト「World Cheese Awards 2025」において、倉敷チーズ工房ハルパルの【燻製スカモルツァ】（パスタファイラタイプ）が見事、銀賞を受賞しました！

本年は、世界46ヶ国から5,244品のチーズが集まり、日本からは40工房48品のチーズが出品されました。出品された5,244品のチーズが110のテーブルにランダムに配置され、テーブル毎にGold、Silver、Bronzeの受賞チーズを決定します。なお、ハルパルの燻製スカモルツァは金賞との差は僅かに1点となんとも惜しかったです。

来年3月にアメリカで開催されるチーズコンテストにも出場予定です。今後さらなる活躍に注目していきたいと思います。

（備南事業所）



藤本春香さんのコメント

まさか銀賞をいただけるとは夢にも思っていなかったので、家族みんな驚きました。賞をいただいたチーズは、桜のチップで燻製に仕上げた日本らしさを表現したもので、焼いたパンのような可愛らしい見た目や、特に高品質な乳質を高く評価していただけことがとても嬉しかったです！

ひろば

休日の過ごし方

蒜山事務所 小椋 一樹

私は、休日にドライブすることが習慣になっています。

行き先は主に県南部や鳥取県で、おいしいものを食べる時であれば、リサイクルショップや最近では観光地巡り等をしています。

目的があつていくこともあれば、その時の状況や気分で行き先をかえることもあります。このとき、目的地へ着くまでの間はなるべくさまざまなルートを試してみることになっています。

道中にも多くの店や観光場所があるため、ただ予定通りに着くことだけを目的とせず、時間に余裕があるときには少し寄り道して気になった場所には行ってみるなどして今まで知らなかった名所を探すことを楽しんでいます。

今後は行く機会が少ない広島や兵庫方面にも足をのばしてみたいと思います。



間近で見るペンギン



最高の一杯



ご協力とお願い

日頃より組合業務につきまして、格別のご理解とご協力をいただきお礼申し上げます。

年末年始は、12月30日(火)から1月4日(日)まで休業とさせていただきます

す。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。
ただし、緊急の場合には連絡表によりお願いいたします。

乳代精算日のお知らせ

令和8年の乳代精算日を次の通りとさせていただきます。

(総務部総務経理課)

月	乳代精算日
1月分	R8年2月20日
2月分	R8年3月23日
3月分	R8年4月20日
4月分	R8年5月20日
5月分	R8年6月22日
6月分	R8年7月21日
7月分	R8年8月20日
8月分	R8年9月24日
9月分	R8年10月20日
10月分	R8年11月20日
11月分	R8年12月21日
12月分	R9年1月20日

お礼

このたび、藤本 春香様より結婚祝い返礼金として、(一財)おからく教育振興会にご寄付いただきました。
事業主旨に従い、有効に活用させていただきます。
ありがとうございました。

理事会報告

10月30日、第306回理事会を理事9名、監事3名が出席し、開催した。

檜尾組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和7年度生乳需給安定化対策について

令和7年度9月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○上期決算について

令和7年度上期決算は事業利益では29,333千円の黒字となり、補助金交付が遅れた昨年に比べ21,540千円の増となりました。
経常利益は47,279千円の黒字となりました。

○高梁大池山育成牧場利用組合からの要望について

高梁大池山育成牧場利用組合からの運営支援要望を確認し、次回理事

会までに決算内容を精査し、支援内容を決定することを承認した。

○酪農業賠償責任保険の加入について

保険期間の満了に伴い、継続加入を承認した。

○報告事項

第2四半期苦情等の報告について、組合員数の状況について、内部監査報告について、ミルクフェアについて、料理コンクール・絵画コンクールの結果について、全酪連冬ギフトの協力について報告した。

人事

退職(令和7年11月30日付)

林田 春香(事業本部生乳課)

田中 天(事業本部購買課)

大変お世話になりました。

異動(令和7年12月1日付)

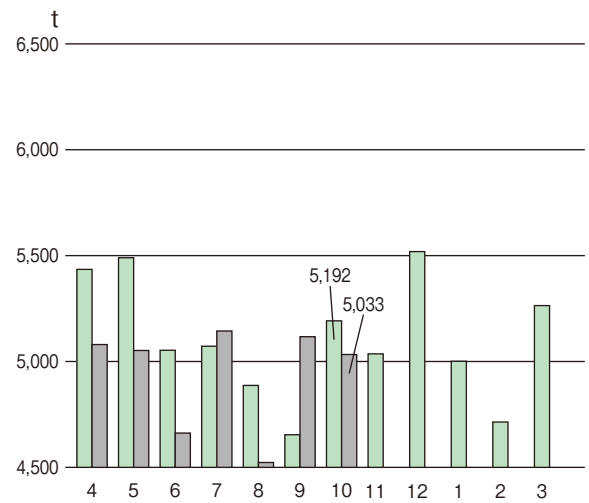
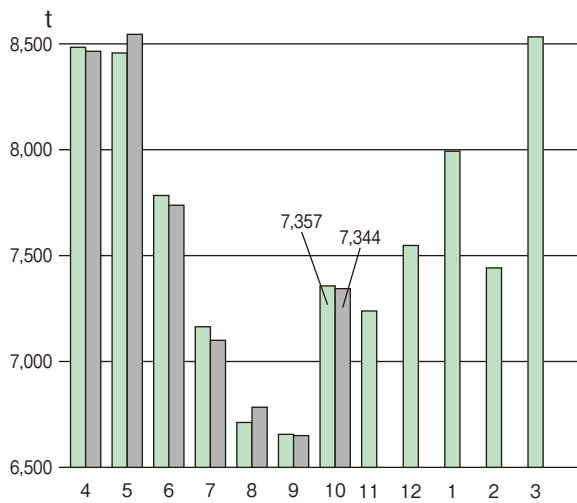
黒瀬 聖(事業本部生乳課)





おからく事業実績

■ 生乳販売量(令和7年度) ■ 生乳販売量(令和6年度) ■ 購買取扱数量(令和7年度) ■ 購買取扱数量(令和6年度)



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	受託乳量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	受託	飲用	乳製品	その他
全国	10	558,356	288,897	128,135	141,324	99.8	97.3	104.8	100.7
	4～10	4,022,211	1,982,427	1,036,523	1,003,229	101.1	99.0	106.2	100.3
岡山県	10	7,344	7,159	109	76	99.8	100.5	71.7	92.7
	4～10	52,627	49,386	2,582	659	100.0	99.3	112.7	112.1
北海道	10	326,797	71,692	118,077	137,028	100.0	94.3	103.1	100.7



主な行事

12月

- 1日 会計実施検査(～5日)
- 8日 女性部全体交流会
- 19日 管理職会議
- 25日 理事会
- 27日 おかやまミルクカップ2025 U-8
- 29日 仕事納め

1月

- 5日 新年互礼会
- 26日 管理職会議

北海道初妊牛価格

11月については、下牧シーズンを迎えたなか、上場頭数が増加したことなどから、初妊牛平均価格は税込58万4千円(前月比1万8千円安・前年比7万8千円高)と値下げ傾向に推移しました。
12月については、乳用牛に対する人工授精統計から来春の資源減少が見込まれるなか、回転需要に加え春分挽の早期手配の動き等により、初妊牛相場は、強含みでの価格展開が予測されます。